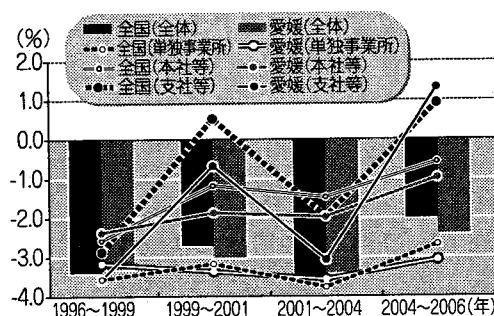


愛媛県内には製造業の事業所が2006年10月1日現在で5265カ所ありますが、この10年で3割減少しています。地場企業のほかにも出先企業の事務所や工場などが立地していますので、事業所の属性別（単独事業所、本社等、支社等）に分けた数値（開業率マイナス廃業率）を用いて、製造業事業所増減の特徴をご紹介します。なお、本社とは別の場所にある工場は支社等に分類されます。

全体の8割弱を占める単独事業所は全体と同様に開業数よりも廃業数の方が
製造業事業所の「開業率－廃業率」推移



支社の開業率は増

多く年々減少しています。全国の直近(04年→06年)では開業率の上昇があり、減少幅は小さくなりましたが、愛媛県ではその動きは鈍く全国よりも悪い水準(3.1%減)に転落しました。この水準は四国の他の3県と比較しても悪い値です。

一方、支社等の直近は逆の動きを示しました。愛媛県は全国を上回り1.3%の増加です。前回調査まではマイナスでしたので大きな変化であり、その要因は開業の増加です。

全体で見れば継続して減少していることは事実で、特に単独事業所を経営されている方は一層厳しい状況になっていますが、増加する時期や属性があることは注目して良いでしょう。

(日本政策投資銀行松山事務所長・門松功)

ピックアップえひめ

減少続く事業所数

Data